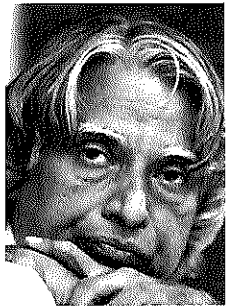


インド大統領のスピーチ

於シユリサティアサイ国際センター



二〇〇三年二月八日、インドの大統領、アブドゥールカラム博士が、シユリサティアサイ国際センターにおいて講演をされました。ここにそのスピーチの抜粋をご紹介します。

豊かで幸福と平和に満ちた社会への進化

ここサイ国際センター講演会場において、皆さんと共に交わり、こうしていただけることをとても嬉しく思います。さてここ、ブラシャーンティニラヤムという神の住まいにおいて、与えるという精神の光を放っておられる方、神の化身であられる方のことを思い出してみましよう。彼のもとへ赴く人は誰であれ、望みのものを与えられます。それは無料の良質な教育であったり、飲み水であったり、無料

の素晴らしい健康管理、そして孤児たちには食べ物であったり、悩める心の持ち主には、慰めとなる触れ合いだったりします。その方こそ、シユリサティアサイババ様です。彼は崇高な存在であり、また幾百万の人々に幸福を与える神聖な輝きです。

諸君、私は、ある状況を心に描いています。ここに集まった人々の誰もが、シユリサティアサイババ様が私たちに教えてきたように、与えることを始めたならば、と。もし私たちの誰もが、与えるという精神を育てていくなら、いったいどれだけ多くの問題が、そして私たち国民のどれだけ多くの痛みが取り除かれることでしょうか。どうか与え続けてください。神はあなたを祝福することでしょう。与える、というのは単に物質を与えるというだけの意味ではありません。人々に幸せ、愛、尊敬、そして助けを与えるのです。そうして初めて、私たちの生活がこの惑星で美しい居住環境へと開花していくことになるのです。

ブラシャーンティニラヤムからの神聖なるメッセージ

心に正義があるとき、人格に美しさがあります
人格に美しさがあるとき、家庭に調和があります
家庭に調和があるとき、国に秩序が生まれます
国に秩序があるとき、世界に平和が生まれます

それは、心、人格、国そして世界の間にある美しい関連性を表しています。この神聖なるメッセージはタパス(苦行)によって宗教を靈性主義へと変えた結果生み出されたものです。真の教育の目的は、子どもたちを知識と価値体系をそなえたすばらしい人間へと変えていくような学習の過程を伝えることにあります。

人の生命に対する敬意

アウエイヤル氏によって千年も前に作られたタミール語の詩に次のようなものがあります。

人として生まれるのはまれなこと
何の障害もなく生まれるのはもっとまれなこと
たとえあなたが何の障害もなく生まれたとしても
知識と教育を受けられるのはもっとまれなこと

たとえ人が知識と教育を受けられたとしても
施しとタパス(苦行)をするのはもっとまれなこと
しかし、施しとタパスをなすものには
彼を迎えるために、天の扉が開かれるであろう

つまり、数百万種に及ぶ生命が存在するこの宇宙において、人として生まれるのは極めてまれなことです。私たちが、そのような幸運に恵まれていたとしても、人生において重要な部分を占めなければならぬものは、究極のタパス(苦行)であり、愛なのです。そのような自己変革の状態にあるとき、神の至福は人の生命の中で輝くのです。

諸君、豊かな、幸福と平和に満ちた社会への変革のために、私たちが必要とするものは、戦争からの自由、心の中そして外での闘いからの自由、そしてとくに、与えるという人間的な心であり、人々に必要な権限を与えるということです。

二〇〇三年二月八日 ニューデリー
シユリサティアサイ国際センター及び教育機関
サティアサイ中央信託ユニット